

2025 年度 第 7 回理事会 議事録

2025 年 10 月 9 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	24 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	2 名

■出席役員：会長）宇田英幸 副会長）伊藤伸、平田樹伸 理事）赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、佐々木竜也、鈴木香織、高橋啓吾、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、吉田朋子、渡部慶和
監事）岡田洋一、西田典史

■委任役員：（理事）鈴木康子、丸達也

■欠席役員：（理事）岡部拓大、阪井之哉

■他出席：法人管理部）嘉成望

■他欠席：敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2025 年度 第 6 回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】（資料 1）

*内容一部修正し、満場一致で可決された。

第 2 号議案 広報誌「彩り」2025 年秋号発行について【広報部：近森】（資料 2）

・OT 協会へ送付して欲しい。

→ホームページにアップされたものを協会へメールで連絡する。（高橋理事）

*内容を確認し、満場一致で可決された。

第 3 号議案 繰越金還元の方法について【財務：北村】（資料 3）（継続審議）

・コロナ禍および DX 化となった結果、繰越金額面が増額したため、会員還元を検討することとした。

・繰り越し金が 1500 万円を超え、内部留保するよりは会員に還元していきたい。

○案 1 会費を下げる案と、案 2 研修費を下げる案が出されている。

案 1 の場合、会費を 1000 円値下げをした場合、年間 145 万円減収となる。10 年で繰り越し金を使い切ってしまうため、期間限定での会費値下げを考えたい。

案 2 の研修費を値下げの案については、コロナ禍で無料だった時期があり、そこから正常化をしたところである。

【議論】

案 1 「期間限定」での会費値下げが可能か。

キャンペーンとしてアピールしていくのはどうか。

パパママ世代としては、会費を下げてもらった方がありがたい。

世の中の流れとしても値下げすることは良いのではないか。

案2 研修参加費見直しを行うか。

運営としては、研修費はあった方がよい。

無料だとドタキャンなどの不具合が生じることもある。

案3 研修に使用する機器・設備投資として県士会として購入にあてるのはどうか。

案4 新規入会者割引きで還元。

案5 Canva 等のツール活用日で還元。

Canva とは、デザインツール（研修会バナーなどの作成）ソフト。

案6 予算立てしたものを使用していくことが重要。

○監事より

- ・良い意見・アイディアが出ているため、会員のためになる方向で進めていき、ひいては、作業療法士の組織率に繋げていければと思う。

○会長より

- ・闊達な意見交換がなされていることが良い。
- ・会費の値下げが永続的に与える影響や若い会員をどう獲得し、どうサービスを提供していくのか、そして、現会員への還元をどうするかなどの視点を含めて議論を進めていきたい。

○北村理事より

- ・現状では、収入と支出は問題ない状況である。
- ・研修会を増加していくとしたら、赤字となる。また、会員が減少したら、赤字となる。
- *3年限定での値下げが現実的と考えている。
- *他の組み合わせは、今後の検討事項。

○平田理事より

- ・新卒獲得や時代背景から会費値下げが現実的なのかを検討していく必要があると考える。
- ・職能団体の目的も加味していくことも大切な視点になると考える。

*11月理事会へ継続審議とする。

*会費値下げ。新人、メインストリーム世代。値下げ期間の検討。

*中長期的な還元方法も検討。

第4号議案 作業療法士派遣事業運用規程（案）について【法人管理部：大橋】（資料4）（継続審議）

- ・作業療法士派遣事業運用規定を作成し、報償費を決めていきたい。

○派遣に対しての謝金の検討。

案1	時給制（ア）8,000円	（イ）6,000円	3名
案2	時給制（ア）6,000円	（イ）4,000円	13名
案3	時給制（ア）5,000円	（イ）3,000円	6名
案4	時給制（ア）4,000円	（イ）2,500円	0名
案5	日当制		2名

*案2に旅費を含めていくことで、満場一致で可決した。

第5号議案 研修会子連れ参加の際の補償について【東部ブロック：内藤】（資料5）（継続審議）
・11月16日に開催する子連れでの研修会参加の際に、補償として保険加入をすすめたい。

○保険内容の検討。

案1 三井住友海上

案2 あいおいニッセイ同和損保

…個人負担が高くなる可能性がある。

案3 全国社会福祉協議会のボランティア保険

…1日20名縛りあり。最低560円を支払う。対物・対人を網羅している保険となる。

…埼玉県士会会員は全員が加入している保険（法人加入）である。

＊③で満場一致で可決した。

＊保険料は、県士会で負担する。その際、参加者全員の名簿を確実に記載するように統一していく。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

法人管理部に統合させていただく。

2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

戸田市みどり公園課「インクルーシブ遊具体験会」作業療法士派遣依頼への対応。

埼玉県福祉部より、ねんりんピック・健康フェア対応。

3) 総務部：丸理事より報告事項なし。

4) 財務部：北村理事より以下の報告があった。

9月末までの会計報告がまとまった。収入予算16,870,000に対し約87%に当たる14,800,000収入あり。支出20,700,000に対し、約42%に当たる8,630,000支出あり。今後年度後半にあたり、研修が多くなり、収入支出ともに動いていく予定です。引き続きよろしくお願いします。

5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

10月7日19:00～20:00学術部会の開催

作業科学に関する研修会の講師を依頼し内諾を得たため、講師を交えて内容について打合せの部会を実施した。

作業科学に関する研修会（テーマ未定）講師：西方浩一先生（文京学院大学教授）。内容：多くの作業療法士が抱える「作業」という言葉の曖昧さや専門職としてのアイデンティティの揺らぎをテーマに、作業科学を取り上げる。日時は2026年1月15日の19時から開催することが決定した。領域を問わず幅広い参加者を募る方針。

次期、県学会の演題査読委員の委嘱を進めてゆく。

6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

演題募集要項検討中。学会HP準備中・

第35回埼玉県作業療法学会 開催日：2026年7月12日（日） 会場：目白大学

学会長：花房謙一（目白大学）

7) 教育部：鈴木香織理事より報告事項なし。

8) 生涯教育委員会：神山理事より報告事項なし。

9) 養成教育委員会：岡部理事より報告事項なし。

10) 職能開発事業部：藤田理事より報告があった。

日本作業療法士協会から案内があった地域保健総合推進事業研修会に参加。

開催日時：2025 年 10 月 19 日（日）10 時～16 時 30 分

開催形式：Zoom を使用してのオンライン形式

参加者：都道府県理学療法士会・作業療法士会の関係部局員各 1 名ずつ計 94 名

→職能開発事業部から部員の水村翔が参加する

プログラム：地域・職場での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修会

地域での連携に向けて

伴走支援・モデルチームの活動報告

事業展開に向けた準備

グループワーク

一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項なし。

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員としての連絡事項（埼玉県保健医療部疾病対策課所轄）

令和 7 年度第 1 回埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会・脳卒中部会に参加予定

【日時】10 月 21 日（火）18 時～19 時

【場所】MS Teams によるオンライン会議

【議題】脳卒中の重症化予防のための取組について

11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。

広報誌「彩り」2025 年秋号。理事会で承認されたので広報していく。

10 月 1 日に第 1 回 広報部 Presents「伝わる！見やすい！プレゼン資料のつくり方」開催。参加者 57 名。

12) 地域リハ推進部：館岡理事より以下の報告があった。

2026 年度ねりんピックの健康フェアに内容を検討した。

2026 年度リハフェスタの日程、場所を検討中。

13) 地域包括ケア推進部：平田理事より報告事項なし。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。

9 月 13 日 若年のつどい越谷 OT3 名参加

9 月 18 日 お城 de カフェ OT4 名参加

10 月 11 日 若年のつどい深谷予定

15) 災害対策部：阪井理事より報告事項なし。

16) 制度対策部：江原理事より報告事項なし。

17) 各ブロック

東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。

2025年9月18日、『今夜は語ら Night！身体領域で悩んでいる症例相談会～みんなに聞けば解決できる～』を行い参加者は20名だった。

11月16日 10：00～12：00 OT子育て世代みんなで語らないと子連れOK 場所：春日部夢の森公園サークル室1.2

西部ブロック：種沢理事より報告事項なし。

10月中～下旬 語ら Night！運営ミーティング

南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

9月16日 南部ブロック座談会を開催した。

12月16日語ら night！ 世代別相談会！！ ～今臨床で困っていることを語り合おう～

北部ブロック：桑原理事より以下の報告があった。

10/20 語ら night！開催予定。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事より以下の報告があった。

10月7・8・9・14日に、訪問リハ実務者研修会 BASIC コースの講師と打ち合わせ。

11月9日 訪問リハ実務者研修会 BASIC コース

3月8日 訪問OT専門研修 講師：戸田竜也氏（一般社団法人 SCRAP&BUILD）

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。

10月10日にMTDLP書き方研修会を行う。

20) 子ども支援委員会：佐々木理事より報告があった。

10月24日に戸田市主催のインクルーシブ公園遊具体験会にOT2名を派遣予定。（午前・午後）

11月1日・2日に「発達領域を専門とする作業療法士のための研修（セラピスト養成講座）」を開催予定。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。

10月7日第3回全体会を開催した。コラボ研修会の振り返り、オンデマンド配信に向けての準備を行っている。11月30日に開催される家族会主催の交流会に参加協力の依頼があったため、参加できる委員を調整している。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。

事例検討会の参加者募集開始。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

9月24日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム

10月8日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム

10月4日 こくら OT室実施 参加者26名

25) 第 35 回埼玉県作業療法学会：小池理事より以下の報告があった。

演題募集要項検討中。学会 HP 準備中・

第 35 回埼玉県作業療法学会 開催日：2026 年 7 月 12 日（日） 会場：目白大学

学会長：花房謙一（目白大学）

26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。

27) 倫理委員会：伊藤理事より以下の報告があった。

9 月 29 日第 3 回倫理委員会開催 研修会について検討した。

OT 協会に研修会で使用する各種資料の開示について打診中

倫理に関する相談などはとくになし

年明け開催に向けて、内容なども含めて検討中

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

すっかり秋めいてきた。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。ご自愛ください。

各部局、委員会、みなお忙しい中活発な活動をありがとうございます。このがんばりを会員に伝えるのも一苦勞ですが、ここをやらないと我々のがんばりも報われません。広報部が頑張ってくれていますが、理事の皆さんそれぞれ自分の仕事を盛大に会員に向けて自慢してください。これが組織力を高める一番の手段となります。どうぞよろしく願いいたします。

それを踏まえて内部留保をどう生かすか。これについてさらにみなさんの意見を頂ければ嬉しいです。若い人たちが人を集めてくれれば永続的な値下げも可能ですよね。

<9 月報告>

4 日 ここくら会議

6 日 所沢市 MCI 市民公開講座 これでいいのだバンド演奏

8 日 リハ専協会理事会

11 日 理事会

13 日 若年性認知症本人と家族のつどい 越谷

18 日 お城 de カフェ

25 日 アルツハイマーデー記念講演会 来賓 これでいいのだバンド出演

<10 月予定>

8 日 川越少年刑務所

9 日 理事会

16 日 お城 de カフェ

25～26 日 よんぱち

2) 平田副会長より

日本作業療法士協会の第 2 回地域支援事業会議に参加し、山本会長から学会参加のお話をいただいた。埼玉県士会の活動が注目されており、気を引き締めて活動していきたい。

3) 伊藤副会長より

3. 監事より

1) 岡田監事より

長時間にわたり、真剣に議論いただきありがとうございました。会員や将来の会員に向けて活動や検討いただき感謝したい。若い世代を巻き込みながら世間に貢献できるように繋いでいきたい。

2) 西田監事より

毎月シビアなお金の検討がなされていることが、作業療法士の価値を見出していけると良い。作業療法士として希望をもって活動できる足場が、県士会で培われていくことが大切と感じた。

Ⅲ. その他

次回理事会：2025 年 11 月 13 日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は 21 時 00 分閉会を宣した。

2025 年 10 月 9 日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会